

4 都市計画案および環境影響評価準備書の説明会の開催について

京王電鉄京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）の連続立体交差化・複々線化に関する都市計画案と環境影響評価準備書および関連側道の都市計画案等についての説明会を下記により開催いたします。

日程	開催時間	場所
① 3月16日(水)	午後7時～9時 (開場 午後6時30分)	世田谷区立松原小学校(松原5-43-26)
② 3月17日(木)		杉並区立永福南小学校(杉並区永福1-7-6)
③ 3月18日(金)		世田谷区立烏山北小学校(北烏山6-3-1)
④ 3月22日(火)		東京都立松沢病院内体育館(上北沢2-1-1)
⑤ 3月23日(水)		世田谷区立松沢中学校(桜上水4-5-2)
⑥ 3月24日(木)		調布市立第八中学校(調布市仙川町2-15-2)
⑦ 3月25日(金)		世田谷区立東大原小学校(大原1-4-6)
⑧ 3月28日(月)		世田谷区立芦花中学校(粕谷2-22-2)



*いずれの会場でも説明内容は同じです。当日直接会場へお越しください。なお、お車でのご来場はご遠慮ください。
 *問合せ先 ・東京都都市整備局都市基盤部交通企画課 ☎5388-3284
 ・世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課 ☎5432-2535

5 沿線歩いて発見(芦花公園駅)

今回は、芦花公園駅周辺を紹介します。

大正2年、京王電気軌道(現京王電鉄)開通時、駅名は「上高井戸駅」でしたが、昭和12年に「芦花公園駅」と改称されました。

駅舎のエスカレーターで北側に降り、商店街を抜けると旧甲州街道にでます。道路幅約10mのこの通りでは、毎年秋に、芦花公園駅前の信号辺りから烏山下宿バス停辺りまでを車両通行止めにして、「芦花まつり」(図①)が開催されます。まつりは、芦花公園商店街振興組合が主催し、パレードや親子綱引き等がにぎやかに行われます。

駅の脇を南北に走る千歳通りを南に5分ほど歩くと、23区初の近代総合文学館として開館した世田谷文学館(図②)があります。文学館には世田谷ゆかりの書物を中心としたライブラリーがあり、文芸映画のビデオの鑑賞もできます。常設展では、ムットーニ製作のからくり箱の中で、萩原朔太郎作「猫町」などが上演されています。

更に南に10分ほど歩くと、駅名の由来にもなった都立蘆花恒春園(芦花公園)(表紙写真)があります。昭和13年に東京市蘆花恒春園として開園。その後、公園は順次広げられ花の丘公園等が整備されました。武蔵野の面影が残る一角に、明治期から大正にかけて活躍した文豪、徳富蘆花の旧邸宅があります。正門付近の、蘆花記念館(図③)では、農具、手紙、原稿などが展示されており、晴耕雨読の様子が伺えます。

広い園内を奥に進んでいくと、目の前に花の丘(図④)が広がります。ここでは、長野県高遠町から寄贈された「高遠コヒガン桜」や花畑が訪れる人の目を楽しませてくれます。

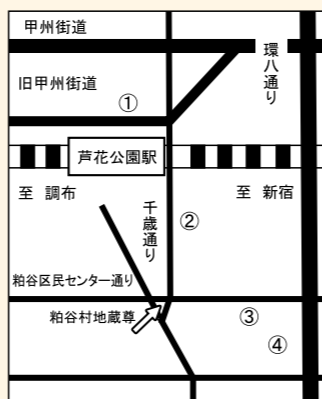
豊かな自然と文化溢れる芦花公園駅周辺を、皆さんも散策してみてください。



①芦花まつり



②世田谷文学館



③蘆花記念館



④蘆花恒春園 花の丘

京王線沿線まちづくり通信

発行：2011年3月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

- 2面 ▶ ①明大前駅・千歳烏山駅の駅前広場都市計画案の検討概要
- 3面 ▶ ②素案説明会における主な質疑応答 ③沿線街づくりトピックス(区のみ取り組み)
- 4面 ▶ ④都市計画案および環境影響評価準備書の説明会の開催について ⑤沿線歩いて発見(芦花公園駅)

別紙：京王電鉄京王線(笹塚駅～つつじヶ丘駅間)の連続立体交差化・複々線化に関する都市計画案と環境影響評価準備書および関連側道の都市計画案についての縦覧と意見書の提出について



昨年12月に明大前駅・千歳烏山駅の駅前広場都市計画案の説明会を開催し、4会場にて延べ約400名の皆さんにご参加いただきました。今回のまちづくり通信第8号では駅前広場都市計画案の検討概要と説明会での質疑応答の概要等についてお知らせします。

また、3月に開催する「京王電鉄京王線(笹塚駅～つつじヶ丘駅間)の連続立体交差化・複々線化に関する都市計画案と環境影響評価準備書および関連側道の都市計画案等についての説明会」と「都市計画案および環境影響評価準備書の縦覧と意見書の提出」についてお知らせします。

これからも引き続き、皆さんとともに沿線街づくりの検討を進めてまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

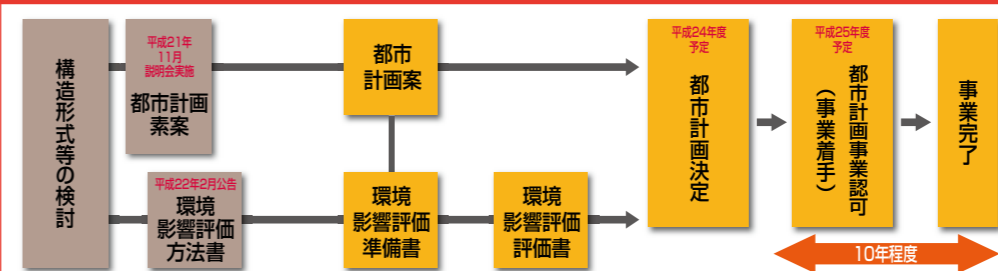


芦花公園駅南口付近

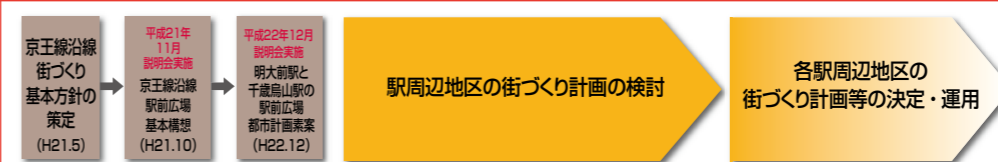
都立蘆花恒春園(梅花書屋)

写真提供 都立蘆花恒春園

●連続立体交差事業の概ねの流れ(東京都)



●沿線街づくりの概ねの流れ(世田谷区)



明大前駅・千歳烏山駅の駅前広場都市計画案の説明会の開催状況

12月17日(金)	松原小学校体育館
12月18日(土)	松原小学校体育館
12月21日(火)	烏山区民センター
12月23日(祝)	烏山区民センター



説明会の様子(烏山区民センターホール)

① 明大前駅・千歳烏山駅の駅前広場都市計画素案の検討概要

明大前駅 駅前広場都市計画素案（東京都市計画道路区画街路世田谷区画街路第13号線）

■計画位置の検討(①②③④の位置は、図1をご覧ください)

①について 駅の北側は、都市計画道路の整備や地区計画による区画道路の整備など、すでに計画的な街づくりが進められており、街づくりを検討する上で適していません。

②について 補助第154号線、駅前広場の整備により、新たな街づくりによる地域の発展が期待できます。

③、④について (図2参照) 井の頭線と補助第154号線の間が約20mと狭く、バス等の大型車両が転回出来ないため、公共交通系の駅前広場として必要な機能を確保できません。

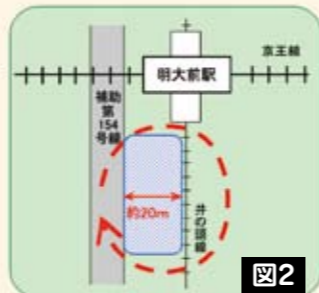


図1の赤色で示す②の位置に、明大前駅の駅前広場「東京都市計画道路区画街路世田谷区画街路第13号線（世区街第13号線）」を都市計画素案として計画しました。(図3参照)

千歳烏山駅 駅前広場都市計画素案（東京都市計画道路区画街路世田谷区画街路第14号線）

■計画位置の検討(①②③④の位置は、図1をご覧ください)

①、②について (図2参照)

①か②または、①と②の併用案では、商店街通りを拡幅し、バスやタクシー等の接続道路とする必要があるため、現在の歩行者中心の商店街環境や、安全性の維持、烏山区民センターと広場の機能の維持が困難です。また、商店街通りを駅前広場への接続道路として整備するため、事業の影響範囲が大きくなります。

③について 補助第216号線から広場に直接接続することにより①、②の問題点が解消されますが、補助第216号線から広場までの距離が④と比較して長く、影響範囲が大きくなります。

④について 補助第216号線から広場に直接接続することにより①、②の問題点が解消されます。また、③と比較して補助第216号線から広場までの距離が短く、4つの位置の中で影響範囲が最も小さくなります。



図1の赤色で示す④の位置に、千歳烏山駅の駅前広場「東京都市計画道路区画街路世田谷区画街路第14号線（世区街第14号線）」を都市計画素案として計画しました。(図3参照)

② 素案説明会における主な質疑応答

Q1 駅前広場の位置はどのような比較検討で決まったのですか?他の位置は検討されなかったのですか?

A1 2ページの■計画位置の検討をご覧ください。

Q2 駅前広場の整備は必要なのですか?

A2 駅前広場には、鉄道から他の交通機関への乗換えの利便性向上、防災機能の強化、都市景観の向上、また、人が多く集う駅前のコミュニティ空間等様々な役割があります。区では、世田谷区都市整備方針で地域間交通を担う軸として補助第154号線、補助第216号線を主要生活交通軸に位置づけており、明大前駅と千歳烏山駅は区内の南北交通軸を担う拠点として、交通結接機能の強化、区民の利便性の向上等のため、公共交通系の駅前広場の整備が必要であると考えています。

Q3 駅前広場は高架下を使用しないのですか?

A3 高架下については、鉄道構造物を支える支柱があり、一定の回転半径を要するバスなどの動線、歩行者の安全な動線の確保に制限が生じるため、計画素案の区域としていません。

Q4 住民の意見を聞いて駅前広場の計画づくりをしたのですか?

A4 区は、南北交通を担う重要な都市の機能として駅前広場を整備してまいります。このため平成21年秋にお示した、「京王線沿線駅前広場基本構想」を踏まえ計画検討を行い、駅前広場を都市計画素案として、この度区民の皆さんにお示しいたしました。

Q5 連続立体交差化事業や駅前広場、補助線街路の整備は同時に進めるのですか?

A5 今後の進め方として概ね平成25年度から10年後の完了を目指して、鉄道・道路・駅前広場を同時期に完了するように進めたいと考えています。

Q6 駅前広場は環境影響評価の対象ですか?

A6 環境影響評価法の対象事業とはなっていませんが、必要に応じて調査を行い適切に対処してまいります。

Q7 区の洪水ハザードマップで浸水予想区域に明大前の駅前広場を整備しても安全なのですか?

A7 区では豪雨対策基本方針を策定し、駅前広場等公共施設の整備に際して安全面の検討も合わせて行ってまいります。

Q8 千歳烏山の駅前広場には何故バス停留所が6箇所も必要なのですか?

A8 公共交通系の駅前広場計画を検討するにあたり、将来の利用者予測をもとに、南北に分かれている現在の7系統のバス路線の起終点を駅付近に集約する計画として検討した結果、最低限必要な施設数として計画いたしました。

Q9 駅前広場計画は商店街に大きな影響があり、地域区民のための街づくりになるのでしょうか?

A9 新しく整備される都市機能を活かした商店街の将来像について商店街や関係権利者の方々意見交換しながら日常的な消費、文化活動の中心となる地域生活拠点にふさわしい街づくりを進めてまいります。

明大前駅と千歳烏山駅前広場素案説明会には大勢の皆様にお越しいただきご意見を伺うことができました。今後も、引き続きご質問、ご意見を伺ってまいります。

③ 沿線街づくりトピックス(区での取り組み)

●京王線沿線まちづくりオープンハウスⅡを開催しました。

昨年9月11日(土)から9月21日(火)において、代田橋駅から千歳烏山駅の各駅周辺の公共施設を利用して「京王線沿線まちづくりオープンハウスⅡ」を開催しました。京王線沿線まちづくり通信第7号でお示した街づくり側道計画(案)の概要を中心に、平成21年11月の素案説明会でご提示した連立事業の内容や「京王線沿線駅前広場基本構想」などの情報提供も併せて行いました。今後も、皆様への情報提供に努めてまいります。

●駅前広場都市計画相談コーナーを開設しました。

昨年の12月に開催しました、『明大前駅・千歳烏山駅の駅前広場都市計画素案説明会』についての理解を深めていただくとともに、区民の皆様のご意見を伺うため、今年1月に駅前広場都市計画相談コーナーを開設しました。

